



見沼小だより

平成28年度第2号

平成28年5月2日発行

TEL 048-663-7342

FAX 048-663-9887

学校教育目標 「仲良くする子」「元気な子」「考える子」



芽吹く緑とともに学んでほしい事

校長 大澤 淳

新緑の季節を迎え、力強く芽吹いていく植物には、毎年のことですが元気をもらいます。負けずに成長しなければと思ってしまいます。

さて、28年度がスタートし1か月が経ちました。今年度の初めに、子どもたちにお願ひした3つのことがあります。それは、学校教育目標に関連させて、日常の中で意識してほしい3つのことです。ひと月が過ぎ、順調に学年やクラスがスタートした今、あらためてお願ひしたいと思い、子どもたちに話した内容を紹介します。

『まず一つめは「考える子」についてです。みなさんには「いつも考えながら生活してほしい」ということです。例えば、まず、今の生活を思い起こしてください。みなさんは生まれた時から今日まで、おうちの人にご飯を用意してもらっています。朝、登校するときに横断歩道のところで自動車を止めてくれる防犯ボランティアのみなさんがいます。それをみなさんは「当たり前」だと思っていませんか。

新年度、新しいクラスになり、新しい友達もできます。その仲間は、いっしょに遊ぶ楽しさ与えてくれるし、辛いときや大変な時は助け合うこともできます。このように、毎日「当たり前」に過ごしていることを、もう一度見つめ直してほしいのです。しっかり考えてみてほしいのです。そうすれば「当たり前」のことにちゃんと感謝したり、幸せや嬉しさを感じたりできるようになり、自分のまわりの人のやさしさに気付いて、今以上に、心や気持ちが豊かな生活になると思います。

二つ目は「元気な子」です。これについては「何にでも積極的に取り組む元気な子」をめざしてほしいと思います。学校にはたくさんの行事があります。それぞれの行事には、みんなに「身に付けてほしい力を育てる目的」があります。また、毎日の生活の中にも、授業はもちろんのこと、係や委員会の活動や、毎日の掃除にだって一生懸命取り組むこと、さらに、時間をしっかり意識して、早めに行動することなどは、「積極的に取り組む元気な子」でなれる証明です。ぜひ、今年は意識して取り組んでみてください。

3つ目は、「仲良くする子」です。これはよくわかると思います。友だちと仲良く楽しく過ごすには、そう、「相手を思いやること」です。相手がいやだなと感じることを言ったりやったりしてはいけない、というのは最低限の当たり前のことです。相手が困っていたら助けてあげる、これも当たり前のことです。さらに一歩進んで、どうしたら相手が嫌な気持ちにならないか、気持ちよく過ごせるか、を察して行動しましょう。そうすれば、お互い居心地が良く、楽しい気持ちで過ごすことができます。3つ目の「仲良くする子」は相手を思いやり、気持ちよく過ごせる学校にしましょうということです。

以上、3つのお願ひを忘れずに、みんなで明るく楽しい学校を創っていきましょう。』

係や委員会も決まり、各種健診や新体力テスト、家庭訪問など、5月には子どもの成長を確認する取組が数多くあります。毎年成長していく姿は、まさに新緑の力強さと一緒です。今年もたくさんの行事で保護者の皆様にはご協力をお願いすると思いますが、子どもの成長を願ひ、また成長を楽しみながらお力添えくださいますようお願いいたします。